

保健

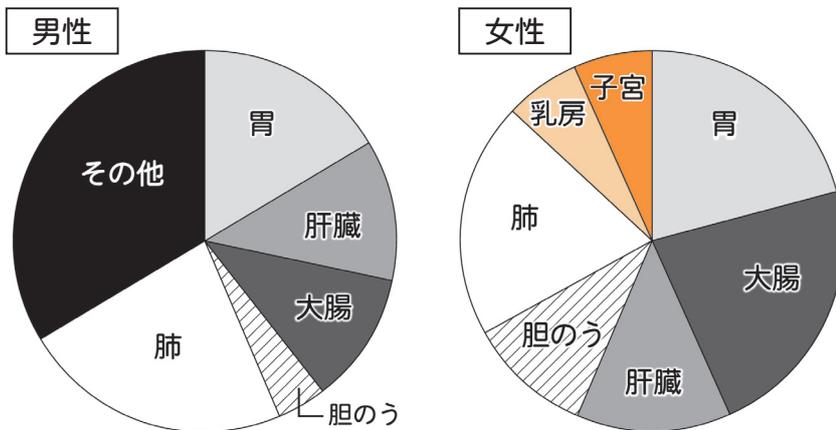
センター
通信

市健康管理課(保健センター)
☎内線1742~1744

フリーマ 受けよう 健診! その3

～がん検診も忘れずに! 早期発見が大切です～

図1 平成18年度部位別死亡率

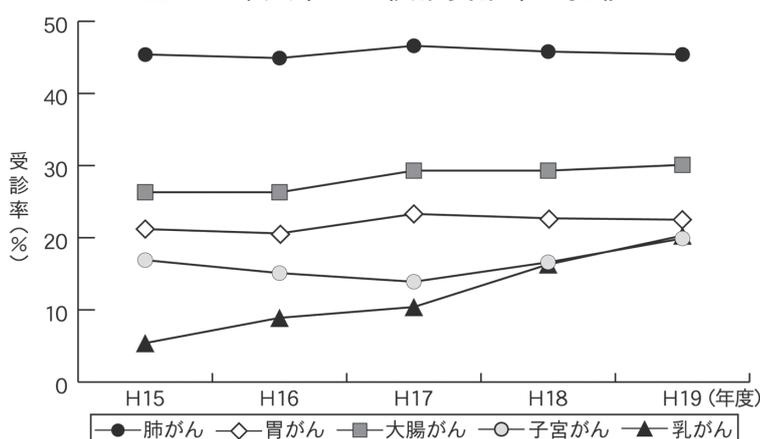


今回は、がん検診についてご説明します。ご存じのように「がん」は、1980年代以降、30年近くもの間、わが国の死亡原因の第1位となっています。今や3人に1人はがんで亡くなる時代を迎えているともいえます。がん発生の部位別死亡率(図1参照)でみると、男性は「肺がん」、女性は「大腸がん」が第1位になっています。近年増加しているのは、肺がん・大腸がん・乳がんの3つです。

◆がん検診の特徴
市町村で実施しているがん検診は、一次スクリーニングといって、自覚症状のない方を対象とし、がんの可能性のある方を「ふるい分け」する検査です。少しでも疑わしい場合は「要精密検査」の判定となりますが、すべての方が「がん」とは限りません。見落としを極力少なくするために、「要精密検査」と判定しています。そのため、「要精密検査」の判定を受けた方は、医療機関でさらに詳しい検査を受けることがとても大切です。また、がん以外の病気について(ポリープやかいよなど)も検診で発見できる場合があります。

◆がんは早期発見が大切です
がんは、早期発見により「治る病気」です。発見が早ければ治療の確立が高くなります。検診を受けることで、早期にがんを発見し、治療していくことができます。医療技術の進歩で、小さな初期のがんでも発見でき、さまざまな治療法も確立されるようになっていきます。

図2 牛久市がん検診受診率の推移



◆牛久市のがん検診受診率の状況
牛久市でのがん検診受診率は、少しずつ上昇していますが、国や県が目指す受診率50%には程遠い数字となっています。受診率が50%を超えると、がんによる死亡率は半減するといわれています。それだけ、検診による早期発見は、がんによる死亡を防ぐ有効な方法といえます。

◆がん検診のご案内

市では、表1のとおり、がん検診を実施しています。検診は集団検診(表2参照)と医療機関検診のどちらかとなります。医療機関は検診ごとに協力医療機関が異なります。詳しい内容は、「すこやか」に掲載していますのでご参照ください。

自覚症状があつてからでは手遅れになることもあります。定期的な検診を受けることで「がん」からご自身の身を守りましょう。

問い合わせ 市健康管理課(市保健センター) ☎内線17424
1744



表1 がん検診一覧

検診項目	対象	自己負担(集団)	自己負担金(医療機関)
肺がん検診	40歳以上	500円	1,100円
胃がん検診	40歳以上	1,500円	医療機関ごとに異なります
大腸がん検診	40歳以上	600円	400円
前立腺がん検診	50歳以上男性	2,300円	2,000円
子宮がん検診	20歳以上女性	頸部1,200円	頸部2,000円 頸部+体部3,500円
乳がん検診 (エコー検査)	30歳~56歳女性	1,000円	1,000円
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	40歳以上(隔年)	40歳代 1,500円 50歳以上1,000円	40歳代 1,300円 50歳以上1,000円

表2 集団検診日程

日程	場所	受付時間
6月16日	市保健センター	①午前7時~7時30分 ②午前8時~8時30分 ③午前9時~9時30分 ④午前10時~10時30分
6月17日~19日	三日月橋生涯学習センター	
6月26日・29日~30日	市保健センター	
8月21日・24日~28日・31日	市保健センター	
9月1日	奥野生涯学習センター	
10月19日~21日・30日	市保健センター	
11月4日~6日・9日	市保健センター	

平成21年経済センサス

基礎調査

全国すべての事業所および企業が対象です

経済センサス基礎調査は、商店や工場、営業所、事務所、学校、旅館、学習塾、病院、寺院など、すべての事業所

が対象となる大規模な統計調査です。

統計調査の結果は、国や都道府県、市区町村などがこれからの行政を考える重要な基礎資料として活用されます。6月下旬から各事業所に統計調査員が調査票の配布と記入依頼にお伺いします。統計調査員が伺った際にはご協力をお願いします。

※調査員の身分は、県知事から任命された特別職の地方公務員で守秘義務が課せられており、調査内容は「統計法」により目的外に使用することは固く禁じられています。

問い合わせ 市総務課 ☎内線1

014、総務省統計局 ホーム

ページ <http://www.stat.go.jp/>